



草の根・人間の安全保障無償資金協力

日本国政府、パラナ州テラ・ボア市のサンタ・カーザ・デ・サン・ヴィセンテ・デ・パウロ慈善病院に対し医療器材を供与

平成26年1月25日、平成24年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「サンタ・カーザ慈善病院医療器材整備計画」（供与額：総額US\$99,275（202,302.59リアル））の供与式がパラナ州テラ・ボア市のサンタ・カーザ・デ・サン・ヴィセンテ・デ・パウロ慈善病院において行われました。内山美生在クリチバ日本国総領事、ジョン・アルヴェス・ディアス病院長、ルイス・ニシモリ連邦下院議員、ヴァルテル・ペレス／テラ・ボア市長、セルジオ・タムラ／テラ・ボア文化体育会長の他、地元の関係者ら約120名が出席しました。

1961年に設立されたサンタ・カーザ・デ・サン・ヴィセンテ・デ・パウロ慈善病院は地域の中核的医療機関として医療サービスを提供してきました。同病院は年間約2,600人以上の患者が来院しますが、9割以上は地域からの統一医療保健システムを利用する患者で占められており、大多数は貧困層に属する市民です。さらに、設置されている機器は大半が老朽化しており、必要な医療機器を購入するための予算を確保するのは極めて困難な状況でした。こうした状況の中、日本国政府は同慈善病院の要請を受け、不足していた電気メス、医療ベッド、高圧蒸気滅菌器、手術に不可欠な手術器具セット及び頻繁に起きる停電に備えるための非常用発電機などの購入を支援することとなりました。同プロジェクトを通じて、同地域の医療サービス環境が改善されることが期待されます。

供与式でジョン・アルヴェス・ジラス病院長は、日本政府に感謝の意を述べると共に、同プロジェクトは住民の健康及び医療環境の改善に大きく寄与する旨述べました。

また、ヴァルテル・ペレス市長は、日本政府を代表する内山総領事に心から感謝したい旨述べ、同慈善病院が果たすテラ・ボア市及び周辺市住民の健康維持への重要な役割を強調しました。

続いて、ルイス・ニシモリ連邦下院議員は同慈善病院及びテラ・ボア市民の皆様にお祝いの言葉を述べるを共に、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じてブラジルの社会開発を支援する日本政府及び日本総領事館に感謝の意を述べました。

最後に内山総領事は、日本国政府は同慈善病院に対し医療器材及び非常用発電機を供与することができ大変光栄に思う旨述べ、日本国政府および日本国民を代表し、同支援で供与された器材が有効に活用され、市民の医療環境が改善されることを期待すると共に、日伯両国の友

好の絆がより一層強化される事を願う旨述べました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力は日本国民の納める税金を財源とし、基礎教育、職業訓練、保健衛生及び社会福祉の分野において発展途上国の社会開発を支援することを目的としています。在クリチバ総領事館は、今後も草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、パラナ州及びサンタカタリーナ州の社会開発に貢献していく方針です。

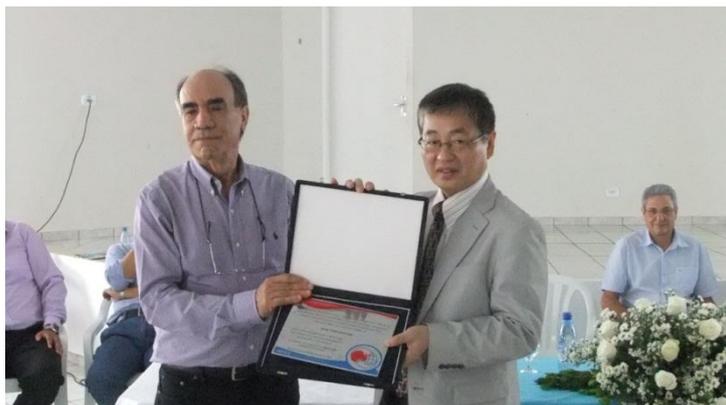
【お問い合わせ先】

在クリチバ日本国総領事館
草の根・人間の安全保障無償資金協力
Tel : 041-3322-4919
Email : cgjapc@c1.mofa.go.jp



記念プレート除幕(左から)ヴァルテル市長、ジョン・ディアス病院長、内山総領事、ニシモリ下院議員、タムラ・テラ・ボア文化体育協会長

供与された医療器材



ジョン・ディアス病院長から感謝プレートを受け取る内山総領事

内山総領事、ニシモリ下院議員、ヴァルテル市長と供与式出席者